

濃度測定の対象について

石綿の飛散防止対策の更なる強化について（中間答申）

現在、大気濃度測定に要する期間は一般的に数日程度と考えられることから、規模の小さいあるいは工期の短い解体現場等についても、一律に大気濃度測定を義務付けるか否かについては、慎重に検討すべきである。



濃度測定の対象について

- 1．集じん・排気装置の排気口に関しては、解体等の現場管理のための測定法で実施することが考えられ、迅速に測定結果を確認することができることから全ての解体等現場で測定することが適当と考えられる。
- 2．施工区画境界における測定に関しては、位相差顕微鏡法及び電子顕微鏡法による分析では、試料を受け取ってから分析結果を出すまでに一般的に数日を要する。したがって、3日程度で作業が終了してしまう現場では、測定結果をもって作業基準の遵守状況の確認等が困難である、したがって、除去作業日数の平均が3日程度である吹付け石綿の除去面積が20m²未満の建築物の解体等工事については測定対象から外すことが考えられ、吹付け石綿以外の保温材・断熱材・耐火被覆材についても除去面積が20m²未満の場合には測定対象から外すことが考えられる。

特定粉じん排出等作業に係る作業日数・面積調査結果（自治体届出情報）

1. 吹付け石綿

別表第7の1 + 7の4（作業面積別）

作業面積	届出件数	延べ除去 作業日数 (日)	/	作業日数が 3日以内の割合
10㎡未満	34	83	2.4	76%
10㎡以上20㎡未満	31	87	2.8	74%
20㎡以上30㎡未満	24	87	3.6	67%
30㎡以上50㎡未満	51	191	3.7	78%
50㎡以上100㎡未満	91	512	5.6	62%
100㎡以上500㎡未満	248	1629	6.6	25%
500㎡以上1,000㎡未満	85	910	10.7	8%

別表第7の1 + 7の4（累計）

作業面積	届出件数	延べ除去 作業日数 (日)	/	届出割合	作業面積の割合
10㎡未満	34	83	2.4	5%	0.0%
20㎡未満	65	170	2.6	10%	0.2%
30㎡未満	89	257	2.9	14%	0.3%
50㎡未満	140	448	3.2	22%	0.9%
100㎡未満	231	960	4.2	36%	2.8%
500㎡未満	479	2589	5.4	75%	20.5%
1,000㎡未満	564	3499	6.2	88%	37.3%

2. 石綿を含有する断熱材、保温材、耐火被覆材

別表第7の1 + 7の4（作業面積別）

作業面積	届出件数	延べ除去 作業日数 (日)	/	作業日数が 3日以内の割合
10㎡未満	225	544	2.4	83%
10㎡以上20㎡未満	93	324	3.5	72%
20㎡以上30㎡未満	34	156	4.6	59%
30㎡以上50㎡未満	43	221	5.1	53%
50㎡以上100㎡未満	34	195	5.7	50%
100㎡以上500㎡未満	46	512	11.1	26%
500㎡以上1,000㎡未満	15	222	14.8	0%

別表第7の1 + 7の4（累計）

作業面積	届出件数	延べ除去 作業日数 (日)	/	届出割合	作業面積の割合
10㎡未満	225	544	2.4	44%	0.8%
20㎡未満	318	868	2.7	63%	2.2%
30㎡未満	352	1024	2.9	69%	3.2%
50㎡未満	395	1245	3.2	78%	5.1%
100㎡未満	429	1440	3.4	85%	7.8%
500㎡未満	475	1952	4.1	94%	18.0%
1,000㎡未満	490	2174	4.4	97%	29.4%